

成果指標設定調書

【成果指標の設定】

成果指標設定年度

年度

市町村名	川口市			
提案事業名	オリンピック・パラリンピック機運醸成事業			
事業期間	29 年度	～	31 年度	
事業の必要性、目的	青木町公園総合運動場陸上競技場がオリンピック・パラリンピックのキャンプ候補地に登録された後、トップアスリートを招いたイベントや記念大会を開催し、事前キャンプ地誘致に向けた啓発活動やオリンピック・パラリンピック開催に向けて機運の醸成を図るもの。そして、キャンプ地誘致が達成できた暁には、オリンピック・パラリンピック出場者を身近に感じられる機会が出来ることにより、東京大会への機運の醸成やより一層のスポーツ振興が図られるもの。			
成果指標	(成果を検証する指標) オリンピック・パラリンピックにおけるキャンプ地の視察件数			
	(成果検証の具体的な方法) キャンプ地の視察件数			
	(上記の指標を設定した理由) 海外に向けたシティセールスの成果及び2020年東京大会を契機としたスポーツ振興に資するものであるため。			
	(成果の目標値)			
	現状値 (30年11月現在)	6 件	目標値 (32年11月時点)	10 件
	(施設建設等の場合)			
	年間利用者数(目標)(人)	—	稼働率(目標)(%)	—
住民への公表方法及び特記事項	市広報紙、ホームページで周知を行う。			

【成果指標と構成事業の関連性】

平成31年度 構成事業

構成事業名	概要・成果指標との関連性	事業費(千円)
① オリンピック・パラリンピック普及啓発事業	ソフト 川口の地場産業である鋳物で製作された旧国立競技場の炬火台が、半世紀ぶりに川口市へ里帰りする。市内に設置することを記念し、トップアスリートなど関係者を招いたイベントを開催する。また、展示・披露することにより東京2020競技大会開催に向け、多くの方々に啓発でき、鋳物をはじめとした地域の魅力を発信するもの。	5,000
② 機運醸成イベント	ソフト 東京2020パラリンピック競技大会に向けた機運の醸成を図るため、パラリンピック競技種目の実技体験会を実施し、多くの方々に競技の楽しさや魅力を身近に感じていただくことで東京2020パラリンピック競技大会時の観戦に向けた動機付けを行う。	993
③	ハード ソフト 間接補	
④	ハード ソフト 間接補	
⑤	ハード ソフト 間接補	
⑥	ハード ソフト 間接補	
合計		5,993

【成果指標の達成見込み】

目標達成のための具体的な方策	1964年東京オリンピック競技大会の象徴となった旧国立競技場の炬火台の設置を記念し、子ども達と元オリンピックメダリストが炬火台を磨くなどのイベント催し、市民をはじめ多くの方々に展示、披露することにより、東京2020競技大会への機運の醸成を図るとともに、視察等、関係機関との連絡調整を図りながら積極的にPRする。
成果指標の達成見込み	東京選手村からのアクセスが良い立地である川口市を地場産業である鋳物や東京2020大会に向けた活動などの情報発信に取組むことにより、キャンプ地誘致の達成が期待できる。

(記入上の注意)

【成果指標の設定】

・住民への公表方法は具体的に記述すること

【成果指標と構成事業の関連性】

・提案事業を構成する各事業(構成事業)について次のとおり分類すること

「ハード」 施設建設等が中心の事業(ハード事業)。

「ソフト」 主に人的要素を活用した活動でハード事業以外の事業(ソフト事業)。

「間接補」 青年会議所、商工会議所・商工会、自治会、NPO等の公共的団体が実施する事業
に対して市町村が補助金を交付するもの(間接補助事業)。

・事業費は補助金を要望する単年度の事業費のみ記入すること。また、間接補助事業の場合には、
事業費の下に()書きで、市町村の負担額又は補助額を記入すること。